

## 理科の要点シリーズ・5年下・第17回 [問題]

氏名( )

- (1) メダカのおすは、( )びれに切れ込みが( ), ( )  
びれは( )。  
メダカのめすは、( )びれに切れ込みが( ), ( )  
びれは( )。
- (2) メダカを飼うときには( )をとり除くために、くみおきの水を使う。
- (3) メダカを飼うときに、水そうの中に水草を植える理由  
… 1 ( )  
… 2 ( )
- (4) メダカを飼うときの水温は、( )℃がよい。
- (5) メダカは、水温が( )～( )℃以上になり、昼の時間が( )  
時間以上になると、産卵を始める。
- (6) メダカが産卵するのは、1日のうちで( )のころ。一度に( )～  
( )個くらい産む。卵の大きさは( )mmくらい。( )毛がつ  
いている。
- (7) メダカの卵には、メダカのからだになる( )がある。
- (8) メダカはふ化したあとも、腹に( )が残っているので、2～3日は  
えさをとらない。
- (9) ふ化したばかりのメダカは( )びれと( )びれと( )びれ  
がくっついている。
- (10) メダカの卵は25℃のとき、約( )日でふ化する。
- (11) メダカは、水が流れてくる方向に( )を向けて泳ぐ。
- (12) ニワトリの卵には、ニワトリのからだになる( )がある。
- (13) ニワトリの卵の中で、空気が入っている部分を( )という。
- (14) ニワトリの卵の中で、ひものようなものを( )という。
- (15) おすとめすが交尾して受精した卵を( )卵という。  
受精していない卵は( )卵。
- (16) ニワトリは卵をあたためているときは、1日に( )回ぐらい、卵をひっくり返す。これを( )という。
- (17) ほとんどの( )類・( )類は体外受精。  
例外は、( )・( )・( )。
- (18) 卵で産まれる動物を( )といい、親と似たすがたで産まれる動物を、  
( )という。

## 理科の要点シリーズ・5年下・第17回 [解答]

- (1) メダカのおすは、( 背 )びれに切れ込みが( あり ), ( しり )  
びれは( 平行四辺形 )。  
メダカのめすは、( 背 )びれに切れ込みが( なく ), ( しり )  
びれは( 三角形 )。
- (2) メダカを飼うときには( 塩素 )をとり除くために、くみおきの水を使う。
- (3) メダカを飼うときに、水そうの中に水草を植える理由  
…1( 光合成をして酸素を出す )  
…2( たまごを産む場所になる )
- (4) メダカを飼うときの水温は、( 25 )℃がよい。
- (5) メダカは、水温が( 18 )～( 20 )℃以上になり、昼の時間が( 13 )  
時間以上になると、産卵を始める。
- (6) メダカが産卵するのは、1日のうちで( 早朝 )のころ。一度に( 10 )～  
( 20 )個くらい産む。卵の大きさは( 1.3 )mmくらい。( 付着 )毛がつ  
いている。
- (7) メダカの卵には、メダカのからだになる( はいばん )がある。
- (8) メダカはふ化したあとも、腹に( 卵黄 )が残っているので、2～3日は  
えさをとらない。
- (9) ふ化したばかりのメダカは( 背 )びれと( 尾 )びれと( しり )びれ  
がくっついている。
- (10) メダカの卵は25℃のとき、約( 10 )日でふ化する。
- (11) メダカは、水が流れてくる方向に( 頭 )を向けて泳ぐ。
- (12) ニワトリの卵には、ニワトリのからだになる( はい )がある。
- (13) ニワトリの卵の中で、空気が入っている部分を( 気室 )という。
- (14) ニワトリの卵の中で、ひものようなものを( カラザ )という。
- (15) おすとめすが交尾して受精した卵を( 有精 )卵という。  
受精していない卵は( 無精 )卵。
- (16) ニワトリは卵をあたためているときは、1日に( 2 )回ぐらい、卵をひっく  
り返す。これを( 転卵 )という。
- (17) ほとんどの( 魚 )類・( 両生 )類は体外受精。  
例外は、( サメ )・( エイ )・( イモリ )。
- (18) 卵で産まれる動物を( 卵生 )といい、親と似たすがたで産まれる動物を、  
( 胎生 )という。